

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【公表番号】特表2009-506196(P2009-506196A)

【公表日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2008-529170(P2008-529170)

【国際特許分類】

C 0 9 B 67/00 (2006.01)

C 0 9 C 1/48 (2006.01)

C 0 9 C 3/08 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

C 0 9 B 69/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 67/00 Z

C 0 9 C 1/48

C 0 9 C 3/08

C 0 9 B 67/20 A

C 0 9 B 69/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月11日(2009.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

改質顔料の調製方法であって、

a) 顔料と、芳香族アミンと、塩基と、水性媒体とを、混合物を作るために、任意の順序で組み合わせるステップと、

b) 該混合物と、ジアゾ化剤とを、該改質顔料を作るために、組み合わせるステップとを含み、ここで、該芳香族アミンが少なくとも 2 つのカルボン酸基を含むことを特徴とする、改質顔料の調製方法。

【請求項 2】

前記カルボン酸基の少なくとも 2 つがビシナルであることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記芳香族アミンが少なくとも 3 つのカルボン酸基を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記芳香族アミンが、5 - アミノベンゼン - 1, 2, 3 - トリカルボン酸、5 - アミノベンゼン - 1, 2, 4 - トリカルボン酸、または 4 - アミノベンゼン - 1, 2 - ジカルボン酸であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

ステップ a) において、前記芳香族アミンと前記塩基とが、芳香族アミンの混合物を作るために、組み合わせられることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記改質顔料が少なくとも１つの有機基を結合した前記顔料を含み、該有機基が少なくとも１つのカルボン酸塩基を含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項７】

改質顔料の調製方法であって、

a) 顔料と、ジアゾ化剤と、塩基と、水性媒体とを、混合物を作るために、任意の順序で組み合わせるステップと、

b) 該混合物と、芳香族アミンとを、該改質顔料を作るために、組み合わせるステップと

を含み、ここで、該芳香族アミンが少なくとも２つのカルボン酸基を含むことを特徴とする、改質顔料の調製方法。

【請求項８】

少なくとも１つの有機基を結合した顔料を含む改質顔料であって、該改質顔料が、

a) 顔料と、芳香族アミンと、塩基と、水性媒体とを、混合物を作るために、任意の順序で組み合わせるステップと、

b) 該混合物と、ジアゾ化剤とを、該改質顔料を作るために、組み合わせるステップとを含む方法により調製され、

該芳香族アミンが少なくとも２つのカルボン酸基を含み、かつ該有機基が少なくとも１つのカルボン酸塩基を含むことを特徴とする、改質顔料。

【請求項９】

少なくとも１つの有機基を結合した顔料を含む改質顔料であって、該改質顔料が、

a) 顔料と、ジアゾ化剤と、塩基と、水性媒体とを、混合物を作るために、任意の順序で組み合わせるステップと、

b) 該混合物と、芳香族アミンとを、該改質顔料を作るために、組み合わせるステップとを含む方法により調製され、

該芳香族アミンが少なくとも２つのカルボン酸基を含み、かつ該有機基が少なくとも１つのカルボン酸塩基を含むことを特徴とする、改質顔料。

【請求項１０】

液体ビヒクルと、少なくとも１つの有機基を結合した顔料を含む改質顔料とを含むインクジェット用インク組成物であって、該改質顔料が、

a) 顔料と、芳香族アミンと、塩基と、水性媒体とを、混合物を作るために、任意の順序で組み合わせるステップと、

b) 該混合物と、ジアゾ化剤とを、該改質顔料を作るために、組み合わせるステップとを含む方法により調製され、

該芳香族アミンが少なくとも２つのカルボン酸基を含み、かつ該有機基が少なくとも１つのカルボン酸塩基を含むことを特徴とするインクジェット用インク組成物。

【請求項１１】

前記インクジェット用インク組成物を用いて基材上に作成される画像が光学濃度１．５もしくはそれ以上であることを特徴とする請求項１０に記載のインクジェット用インク組成物。

【請求項１２】

液体ビヒクルと、少なくとも１つの有機基を結合した顔料を含む改質顔料とを含むインクジェット用インク組成物であって、該改質顔料が、

a) 顔料と、ジアゾ化剤と、塩基と、水性媒体とを、混合物を作るために、任意の順序で組み合わせるステップと、

b) 該混合物と、芳香族アミンとを、該改質顔料を作るために、組み合わせるステップとを含む方法により調製され、

該芳香族アミンが少なくとも２つのカルボン酸基を含み、かつ該有機基が少なくとも１つのカルボン酸塩基を含むことを特徴とするインクジェット用インク組成物。